

節水シャワーヘッドで簡単エコ

浴室のシャワーヘッド交換は、気軽にできるエコです。ホームセンターやインターネットのショッピングサイトでは、多種多様な「節水シャワーヘッド」が販売されています。節水率30%や50%の商品でも、そんなに水圧は変わらないですし、商品によってはマッサージ効果をうたっているものもあります。まずは商品をチェックしてみませんか。

価格帯は数百円～数千円ですので、割とすぐに元が取れてオススメです！



「Eco列車でいこう！」～第109回～ 台湾「環島」の旅！（後編）

（CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！）



台湾の地方都市「台東」の床屋。言葉が通じないので、携帯で保存しておいた髪型の写真を見せると理髪師はうなづいて仕事を始めた。バリカンとはさみであつという間に仕上がった。料金は100元(380円)だ。プラス100元奮発して、シャンプー&頭皮マッサージをお願いした。

さっぱりして台東の街を散策。カットされたパイナップルを食べながら、NHKでも紹介された、縦縞のカラフルなバッグを土産用に購入し、バスで駅に戻った。

週末の台東駅は「台北」や「高雄」に向かう人々で雑踏している。実は今回の旅の目的の一つが、日本ではほとんど見られなくなった、ディーゼル機関車に引かれた旧型客車列車に乗ることである。

16時少し前。その客車列車が3両編成で入線すると思わず絶句した。昭和20年か30年代製ではないかと思われる、とんでもないオンボロ車両である。もちろん冷房などないので、車内のすべての窓を開けようとするが、開く窓より、開かない窓の方が多い。天井の扇風機もほとんどが壊れている。

前の席には、おばあちゃん、おかあさん、10歳くらいの娘さんが仲良く座っている。その他10名くらいの客を乗せて、オンボロ列車は台湾の南端に向け出発した。

バナナ畑が車窓に広がる。窓を全開にして風を感じる。トンネルに入ると轟音とすごい風である。子どもの頃にタイムスリップしたような、なつかしい体験だ。海辺にたたずむカップルを見たり、途中駅で3人親子に写真を撮ってあげたりして、あつという間に楽しい2時間が過ぎた。

「枋寮」から特急に乗り換えて、台湾第二の都市「高雄」を通過、「新左営」へ。この駅は台湾の新幹線「高鐵左営」駅と直結しており、乗り換える。

新幹線は日本製。3列+2列シートで乗りなれた雰囲気だ。車内でお酒を飲んでいる人はあまり見かけないし、車内販売でもアルコール類は売っていない。周りを気にしながら、駅のセブンイレブンで買った台湾ビールを飲み、妙に甘いビーフジャーキーをつまみにした。

闇の中を突っ走った新幹線はわずか1時間40分で台湾を縦断し21:54 台北着。台湾一周（環島）の旅が終わった。



【6月3日(日)】

台	北	6:50
台	東	11:04
		16:00
枋	寮	18:21
		18:28
新	左	営 19:44
左	営	20:15
台	北	21:54